

科目コード	N22206	科目名	病因・病態学I（総論）				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	原田 耕志						
授業の概要	病因・病態学Iでは、病気（疾病）の病因（原因）とその成り立ちについて学ぶ病理学を学ぶ。疾病の成り立ちについて理解しておくことが、健康、その予防さらに患者さんを看護する際、医療で一番重要でかつ必須である。病理学的な細胞組織、臓器の傷害による変化、修復、再生、循環障害、炎症、免疫・アレルギー、腫瘍等疾病の基本的な総論を学び、病気の成り立ちを学習する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						-
	豊かな教養を身につける						-
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						-
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						-
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						-
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						-
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						-
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						-
	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						-
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	人間に発生する病態は、同じ病名であっても、個人によってすべてことなり、からだの中でどのような病態が発生しているかを、考えることができる能力を学習する。						
履修上の注意事項	解剖学、生化学、生理学等の基礎医学の集大成である病因・病態学（病理学）を取得するという自覚をもって講義に出席して、将来の責任のある医療に従事する能力を身につける。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	病理学で学ぶこと(p4~)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	2	細胞・組織の損傷と修復、炎症(p14~)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	3	免疫、移植と再生医療(p34)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	4	感染症(p56-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	5	循環障害(p72-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	6	代謝障害(p94-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	7	腫瘍(p136-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	8	先天異常と遺伝子異常(p116-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	9	循環器系の疾患(p180-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	10	血液・造血器系の疾患(p198-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	11	アレルギー-呼吸器系の疾患(p210-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	12	消化器系の疾患(p234-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	13	腎・泌尿器、生殖器系および乳腺の疾患(p262-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	14	脳・神経・筋肉系の疾患(p296-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
	15	内分泌系の疾患(p284-)【原田】			事前学習：当日の講義の範囲の教科書を読んでくる。 事後学習：課題で理解できなかった項目をもう一度教科書確認する。		
成績評価方法	定期試験（50%）、課題（50%）						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 病気のなりたちと回復の促進1 大橋健一 など						
参考書							
教員からのメッセージ	難しい講義と感じるので、教科書を読んでください。						
教員との連絡方法	kharada@hcu.ac.jpにメールをください。対応します。						
実務経験のある教員							